

報告期間	ユーザー様名		S I 名・指導者名	
2006年7月1日()から	A社		OFFICE-IGUCHI	
2006年7月31日()まで			井口 一成	
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など)				
家電品部品、OA機器部品				
生産形態、工程の要素				
組み立て 機械加工 板金 プレス 溶接 塗装 メッキ 研磨 鋳物 鍛造 熱処理 実装、SMT 溶解 スリット 切断 溶断 成型 圧延 凝固 接着 食品加工 プラスチック加工 化学薬品 衣類(裁断・縫製・ホタ) 皮、ゴム、紙加工 織、編 印刷(除マニュアル等)・手書き 染色 エッチング その他()				
指導種類	新規導入 バージョンアップ 再導入 その他()			
今回指導回数	58回目～63回目			
TPiCSバージョン	TPiCS X Ver3.1			
オプション・DB	受注販売管理OP、			
アイテム件数	2961件	BOM	3454件	所要量計算 20回/月
				製番展開 回/月
実績インプット	400件/日	伝票発行	20回/月	伝票発行 300件/回
				製番展開 件/回
出席者	生産管理PG責任者、運用担当者、			
今回の指導目的				
【今月の予定】				
・「出荷予定リストで納期遅れの受注残がある。」				
この問題について調査し対策する。				
【7月の実施内容】				
発言者： (社長、TPiCS導入責任者、運用責任者、各課の担当者、)				
TPiCSの生産管理システムは導入でき本稼動できました。				
内示と受注情報をEDIで取り込み、内示情報で外注先に「生産計画表」を発行する、				
発注リード日数の長い材料・部品の発注をする。				
受注情報を毎日取り込み、所要量計算をし、伝票発行期間内の計画を伝票作成し、毎日発注します。				
この計画に従った実績入力をします。不良品は計画外入力をします。				
出荷は、客先からの最新データをEDIで取り込み印刷した納品書と現品票を使用して出荷します。				
出荷実績を入力します。				
問題点は、「出荷予定リストで納期遅れの受注残がある。」「計画外の出荷実績がある。」				
生産管理システムとしては、本稼動できましたが、運用面では改善が出来なくて、一部で以前のままで運用している事が分かった。				
たとえば、出荷実績を出荷時点に入力していないものがある。				

出荷時点で入力し、客先検収後に検収（売り掛け）入力をするようになっていたが、T P i C S 導入前の運用のまま検収だけを入力していた。

得意先からの受注に注文番号が無いものは入力しないでいた、そのため出荷実績を計画外で入力している。

手順書では、手入力をしてT P i C S の番号を使用することになっていたが守られていなかった。

【 8月の予定】

- ・生産管理業務の見直しをして業務改善をする。

結 論

【所感】

生産管理システムとしては、本稼動できましたが、運用面の改善が出来なくて、一部に以前のままで運用しているところがある。

T P i C Sの機能で管理できることを再度説明し、手順書を作成し実務を行う作業者に徹底させる。
さらに、業務改善を必要とするものは関連部署と協力して改善して、T P i C Sで管理出来るようにする。
今後、総ての工程について現状調査を進める。

検討事項・要回答事項・要継続審議事項

事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者		
		年 月 日()			